

らしく通信

2014年11月

NO. 1

あなたらしく・・・わたしらしく・・・私達はひとり親家庭を応援しています

【発行元】
宮崎県男女共同参画センター登録団体
Rashiku サポート
〒885-0093 都城市志比田町 9525
TEL: (0986) 36-5131
受付時間 13:00~17:00
E-Mail: info@rashiku-support.org
24時間受付
HP: http://rashiku-support.org

宮崎日日新聞様にも取り上げて頂きました！

現在(2014/11)利用している子ども達は、小学生が8名、中学生が2名の計10名。週に1回行っております。宮日さんの取材日はメインの先生がお休みでしたので、南九大の学生さんがメインで指導してくださいました。南九大の生徒さんは、10月から学業が忙しくなるということで、今日が最後のボランティアだったのですが、問題集の中で子ども達がやりたいというページをコピーに走り、時間いっぱい取り組んで頂き、本当にうれしく思いました。また、私たちの活動に、「やってみないと分からないからね！」と立ち上げ時に、快くお引き受けくださったメインの先生がいてくれたおかげで、少しずつ輪が広がってきています。「継続は力なり・・・」何もない所からのスタートで試行錯誤しながらですが、都城全域をカバーできるように、確実に少しずつ広げて、継続していきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

宮崎日日新聞の記事「ひとり親の小中学生支援」の抜粋。記事は、都城市で男女共同参画センターを主催する市民団体「Rashikuサポート」が、ひとり親家庭の小学生や中学生の学習支援を行っている様子を紹介している。記事には、ボランティアの大学生や元教員らが、ひとり親家庭の子どもたちの学習をサポートしている様子が写真で写っている。また、記事には「ひとり親家庭は親が子どもの勉強を見る時間をとったり、経済的な理由で塾に通わせたりするのが困難な場合が少なくない」という背景も述べられている。

子ども達の学習支援の状況

2014年7月からスタートした学習支援。現在利用している子ども達は、小学生が8名、中学生が2名の計10名となりました。



少しずつですが、子ども達も増えてきています。

◆ある日の学習日の様子

小学生の部は、小学6年生も、宿題が早く終わるため、中学受験の問題集を活用しながら、少し難しい問題に挑戦。。。私も含めて、みんなで考えて答えを探しました。小学生の問題といえど、難しいです。

実際、よその県で受験に出た問題なので、学校で、少し難しい問題が出て今後対応できそうですね。

中学生の部は、英語や社会など、先週の間テストのやり直しなどをおこないました。保護者の方より、「とても楽しい」と子供が話している。と嬉しいコメントも頂戴しました。先生方もやりがいがありますね！

ボランティア講師募集

- ・小中学生の学習指導ができる方
- ・大学在学中、もしくは大学既卒者
- ・塾の講師

上記以外にも、児童の読み声を聞いてくださる方や、低学年レベルの宿題を見て頂ける方、児童の良き理解者として



関わって頂ける方を募集しております。申込方法は、「学習ボランティア講師申込書」に必要事項をご記入の上、学習日に持参(交通費として月2,000円程度支給)

勉強したい
子ども達集まれ！

受講生募集

- ◆小学生の部
毎週火曜日 17:30~19:00
場所:コミュニティセンター
 - ◆中学生の部
毎週土曜日 19:00~21:00
場所:小松原地区公民館
- ※費用:塾代 1名につき月1,000円(傷害保険料・その他込)
「利用会員申請書」に、必要事項をご記入のうえ、事務局までご郵送・もしくは学習日にご持参下さい。

12月・1月 学習日

11月

- ◆小学生の部
4日、11日
18日、25日
- ◆中学生の部
1日、8日
15日、22日
29日

12月

- ◆小学生の部
2日、9日
16日
- ◆中学生の部
6日、13日
20日、27日

見学希望の方は
必ずはお電話ください

電話 36-5131 (受付時間 13:00~17:00)
メール info@rashiku-support.org (24時間受付)
※携帯メールの方は、パソコンからの受信拒否を外して下さい。

11/2に宮崎市で行われた宮日主催の石井十次没後100年記念シンポジウム「だれも知らない～みやざき 子供の貧困」に参加してきました。私自身ひとり親の立場から、貧困の問題は身近な問題です。

いろんな立場の方々が、貧困問題をどう考えているのか、とても興味があり、参加してきました。経済格差と教育格差の問題は、私達も感じていることから、学習支援のボランティアを始めました。

これは、私自身、私の周りのひとり親家庭にとって身近な問題だったため、取り組みましたが、この活動は、広めていかないといけない活動だと参加して改めて感じさせられました。

その理由は、少子化なのに、日本に相対的貧困の子供は、328万人いるそうです。

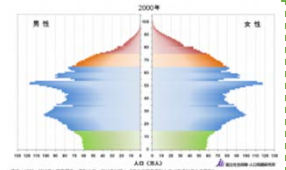
その中に優秀な子供がいても学べないことは、本人にとっても、社会にとってももったいないこと。

今後の将来を支えていくのは、今の子ども達だと考えたとき、自分のこととしてみんなが取り組んでいかないと、これからの社会は成り立たなくそうです。

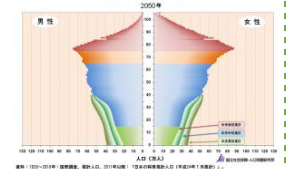
今後の社会継続が難しくなる背景には、人工知能のロボットが、東大に行く計画があったり、介護の事業にロボットが参入していくことで、人手がいらなくなる。ロボットに勝る力が必要になり、知識のない人や、問題解決能力の無い人は、社会から排除されていくだろう・・・と考えられているそうです。

右記は、人口ピラミッドの推移です。ご覧になって分かる通り、社会を担う子ども達の人口がどんどん少なくなっています。よって、これまで以上に、今の子供たちは学力向上が求められる

社会になっていくとのこと。貧困に関心のある人たちだけで話をしても、この問題は広まらない。だから、自分自身が今後困るといふ、この問題意識をみんなに広めていかないと・・・という話に改めてこの問題に向き合っていこうと思いました



2000年



2050年

出典：国立社会保障

人口問題研究所ホームページ (<http://www.ipss.go.jp/>)

ありがとうございます
ございます

寄付金/サイクル品 募集のご案内

「学ぶことで子ども達自身の選択肢が広がる」そんな想いから、家庭の経済状況に関係なく、学べる環境を作りたいと活動を始めました。経済的に困難な子どもたちが学ぶための財源を支えているのは、皆さんからの寄付です。応援が増えると「学ぶ」ことができる子ども達が、増えていきます。皆様の温かいご支援、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

2014.11 寄付・賛助会員総数 10 件

切手・ハガキ・お米頂きました！

■切手・ハガキ

◇少しでも・・・と未使用のものを寄付頂きました。
80円切手 10枚、50円はがき 70枚
市内の企業様に買い取って頂きました。
4,300円は、ボランティアの先生方の保険料として、使わせて頂きます。



■お米

◇使ってください！とご寄付頂きました。
1俵は、学習支援に参加している子ども達に
2升ずつ手渡ししました。
残り1俵は、使い道を現在検討中です。



お気持ちありがとうございます！！

ご案内 (お問合せ・お申込みは) 宮崎県母子寡婦福祉連合会
TEL/FAX:0985-22-4696

◆宮崎県母子寡婦福祉連合会より

都城市母子会の主な行事のご案内

みんなの居場所

・毎月第3日曜日開催

12月21日	} クリスマス・もちつき会 クッキングや小物 作り等をします
平成27年1月18日	
2月15日	
3月15日	

・参加費 無料

◆母子家庭等機能習得介護職員初任者研修講座

平成26年度受講生を募集

・平成26年11月14日～平成27年2月23日の間

毎週2～3回 夜間(18:30～21:30)

・受講料 無料/テキスト代 6,480円

・場 所 職業訓練法人オーバル・ジョブ・トレーニング・カレッジ

〒885-0077 都城市松元町27号1番地

Tel:0986-21-1369 FAX:0986-21-1380

賛助会員のご案内

賛助会員個人	1口 3,000円/年
賛助会員法人(団体)	1口 10,000円/年

賛助会員申込書に必要事項をご記入の上、FAXもしくは、郵送後、お振込みをお願い致します。

※賛助会員法人(団体)様で、Rashiku サポートホームページに掲載希望の方はお知らせください。

寄付金募集

ご寄付についての金額は問いません。

【銀行振込】宮崎銀行都北町支店

普通 129180

【振込先名】Rashiku サポート 会長 甲斐圭子

リサイクル品募集

衣服(乳幼児・子ども用・大人用)

洋服だけでなく、着物や帯などお装小物も含まれます。クリーニング又は洗濯済みもので、シミや汚れ、破れのないものをお願いします。

文具(未使用品) 絵本・書籍・図鑑・辞典
スポーツ用品(ラケット・グローブ・ボール etc)

※未使用切手・書き損じはがきも集めております。